

一般質問の質問者順番と質問事項

(令和8年 第2回定例会)

質問順位	11 12番議員 松石信男	
質問事項1	妊婦一般健康診査の実施について	
質問の要旨	<p>安心して子どもを産み育てられる環境づくりの充実が必要なことは言うまでもないことである。その施策の一つとして、「妊婦一般健康診査」がある。これは妊婦や赤ちゃんの健康状態を定期的に確認するために行うものだが、経済的負担を理由に必要な健診を受けられないことがある。また、出産予定日を超過した場合に、受診票を使い切ると、その後の健診費用は全額自己負担となっている。妊婦一般健康診査は、母体の健康管理はもとより、生まれてくる子どもの健やかな成長にとって不可欠なものであり、必要な医療を経済的理由で控えることはあってはならないと考え問う。</p>	
具体的な質問 及び 質問の相手	<p>(1) 市町村は、妊婦一人につき14回程度の妊婦健康診査の実施に要する費用を負担するものとするが、妊婦健診受診票の交付について現状はどうか</p> <p>(2) 当該健診について、出産前に自己負担が発生している例はあるか</p> <p>(3) 妊娠40週(予定日)を超過し、14回分の受診票の全てを使用した後の健診費用について、追加の助成はできないか</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>

一般質問の質問者順番と質問事項

(令和8年 第2回定例会)

質問順位	11 12番議員 松石信男	
質問事項2	男女共同参画（ジェンダー平等）のまちづくりの推進について	
質問の要旨	<p>報道にあるように世界各国の男女の格差を示す「ジェンダーギャップ指数」の2024年版では日本は146カ国中118位で、政治や経済の分野で、主要7カ国（G7）では最下位、中南米やアフリカ諸国にも及んでいない。今、大きな問題となっている「選択的夫婦別姓」も、国連の女性差別撤廃委員会から4回の是正勧告を受けている。政府は今年3月、男女共同参画に関する目標、方針などを示す「第6次男女共同参画基本計画」を策定した。</p> <p>本町は今年度「第2次基山町男女共同参画推進プラン」の中間見直しを行うが、見直しに当たって計画の推進状況や今後の課題について問う。</p>	
具体的な質問 及び 質問の相手	(1) 第2次基山町男女共同参画推進プラン中間見直しのスケジュールについて	町長
	(2) 推進プランでは、3つの基本目標（①男女共同参画推進の基盤づくり②あらゆる分野で男女共同参画を推進する社会づくり③だれもが安心・安全に暮らすことができる社会づくり）それぞれに令和7年度までの数値目標があるが、それぞれの進捗の状況を示せ ア 社会通念・慣習・しきたりなどにおける男女の平等感（目標値70%） イ 「男女共同参画社会基本法」という言葉の認知度（目標値70%） ウ 審議会等委員女性参画率（目標値30%） エ 女性がない審議会等の数（目標値1） オ 住民健診の受診率（目標値60%）	町長
	(3) 町政や地域の方針決定の場への女性参画状況について ア 役場の管理職における女性の割合を示せ イ 区長や農業委員会、地域防災会議、各種町民活動団体（プラチナ協議会、子どもクラブなど）における女性の割合を示せ	町長
	(4) 令和3年度から令和7年度間の、女性へのセクハラ・マタハラ・パワハラ等の発生件数を示せ	町長

	(5) 男性職員の育児休業の取得状況を示せ	町 長
	(6) 公共施設のトイレの男女の便房数割合はいくらか	町 長
	(7) 意思決定機関の構成員を早期に男女同数になるように推進目標値を設定すべきでないか	町 長